市民後見人バンク登録証に記載の番号を記入してください

市民後見人活動報告書１－１（記入例）

【市民後見人活動報告書】　　報告日：平成　　年　　月　　日

報告者（市民後見人）	登録者番号	○○○○○○○
	氏　　名	後　　健太郎

１概要（毎回記入ください）

報告種別	☑ 新規受任 ☐ 定期報告	受任の年月　　：平成 ○ 年 ○ 月 前回報告年月　：平成　　年　　月
本人	性別	☐男 ☑女　　年齢：８０歳代（**未成年は対象外**）　前半・後半
	判断能力の障害の種別	☑ 認知症高齢者　　☐ その他（　　） ☐ 知的障害 ☐ 精神障害
	現在の居所	☐ 在宅　（ひとり暮らし・家族と同居・グループホーム） ☐ 病院 ☑ 施設 ☐ その他　（　　）
	資産・収入状況	☑ 生活保護受給世帯 ☐ 住民税非課税世帯 ☐ その他
申立	申立者	☐ 本人 ☐ 親族　（　　） ☑ 市町村長　（　　） ☐ 家裁の職権 ☐ 法定代理人（後見人等） ☐ 任意後見人 ☐ その他　（　　）
	鑑定書	☐ 有り ☑ なし　　☐ 不明
審判	家裁	大　阪　家裁　○○　支部
	審判確定年月	平成 ○ 年 ○ 月
	類型	☑ 後見 ☐ 保佐 ☐ 補助
	複数後見	☑ 無　☐ 有り（複数後見の相手　　） （分掌有無：　　）
	後見監督人	☑ 無　☐ 有り（監督人の職業：　　）
活動費	活動費の支弁	☑ 本人の資産から支弁することが可能である。 ☐ 被後見人等が資力に乏しく活動費の支弁ができない。 ☐ その他（具体的に：　　）
	直近の活動費	月平均　約　　１，５００　円
備考		

市民後見人活動報告書１－3（記入例）　　報告者氏名　後　健太郎

３、本人の状況及び後見活動の内容（毎回記入ください）

<table>
<tr><td>本人の現在までの状況</td><td colspan="2">（※初回は、面接で把握できた内容を記載、その後は、３ヶ月ごとにその間の状況の変化を記載してください。）

日中は、車いすで他の利用者と一緒にＴＶを見て過ごすことが多い。
簡単な会話は可能で、面会に行くと、笑顔で「いつもありがとう」と言ってくださる。デイサービスに週２回行っており、そこで音楽を聞くと、曲に会わせて手を動かしているそうだ。
要介護度は４で状態は落ち着いている。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">現在の後見活動の計画・内容</td><td>① 本人との面会の頻度
（過去３ヵ月間の面会）</td><td>☑ 有り　（ ○ 回）
☐ 無し（理由：　　）</td></tr>
<tr><td>② 家裁への報告
（直近の報告年月）</td><td>平成　　年　　月</td></tr>
<tr><td colspan="2">（※初回は、面接で把握できた内容を元に記載、その後は、３ヶ月ごとにその間の状況の変化に応じ必要な活動を記載してください。）

・週１回程度の面会
・Ａのスタッフと連携しＢさんの状況を把握する</td></tr>
<tr><td>今後の後見活動の計画と内容</td><td colspan="2">（※初回は、面接で把握できた内容を元に記載、その後は、３ヶ月ごとにその間の状況の変化に応じ必要な活動内容を記載してください。）

・面会を通じ、Ｂさんとコミュニケーションを図り、ご本人の希望を探り、経済面も考慮し可能な限り対応していきたい。
・Ａのスタッフとの連携を図り、Ｂさんの生活の質の向上のため、ベストなサービスの提供を検討していきたい。</td></tr>
<tr><td>活動上の課題</td><td colspan="2">（※初回は、面接で把握できた内容を元に記載、その後は、３ヶ月ごとにその間の状況の変化に応じ、その時点で考えられる課題を記載してください。）

・経済的に限られた中で、Ｂさんの生活の向上に必要なサービスの導入を検討すること。
・今後の体調の変化に伴い、現在のＡでの生活が継続できなくなった場合に備え、○○市内の施設の情報を収集すること。</td></tr>
</table>